

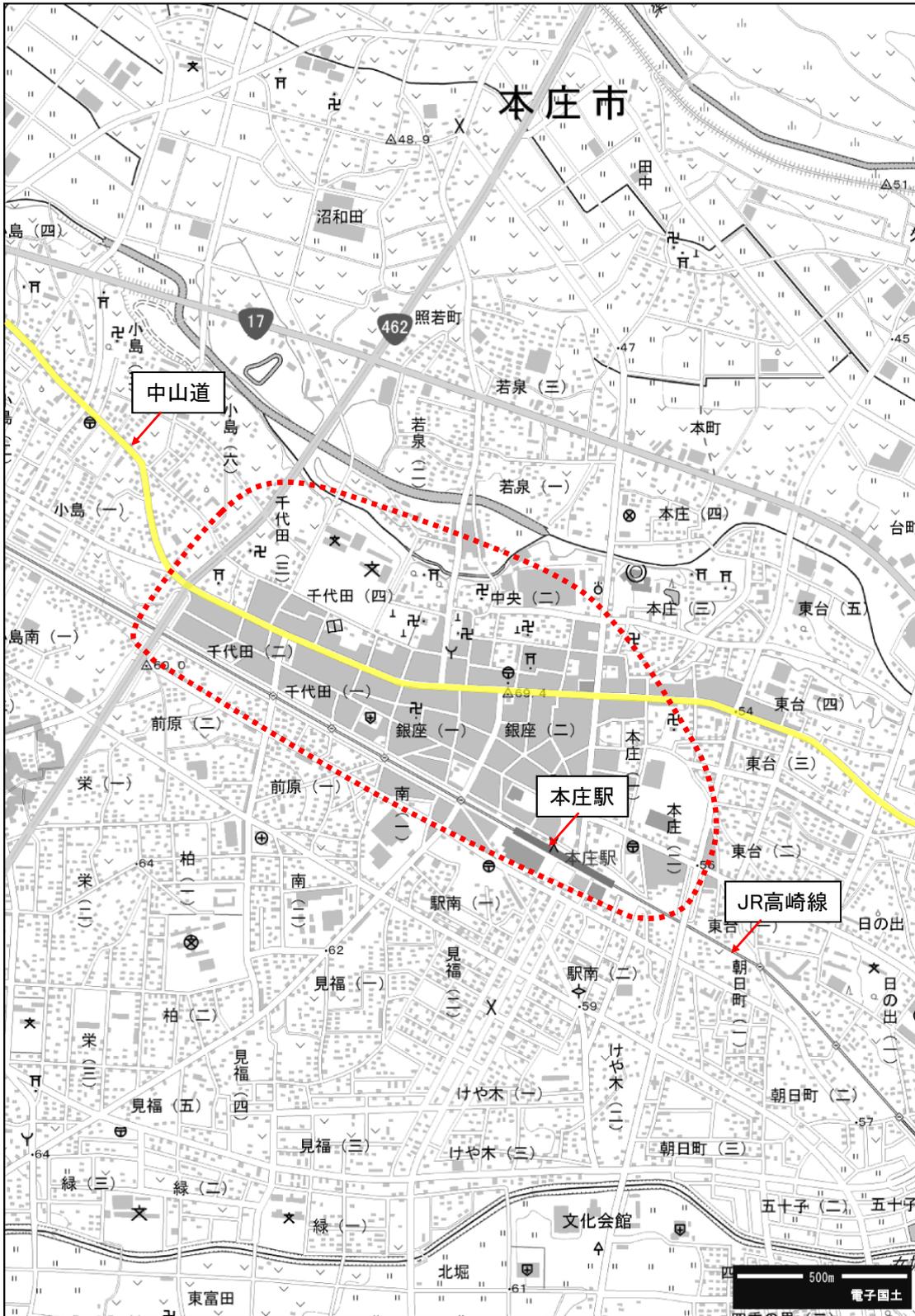
# 本庄



案内図

 調査範囲

# 本庄



案内図

 調査範囲

本庄



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

本庄



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

## 本庄



本庄は武州最北端の宿、700年の歴史をもつ古い町。昔よりこの町から枝道が四方八方に伸びていたこともあり、西国や日本橋方面より江戸に入りする時の中継地点として、人と物が集まり、中山道最大の宿場町として栄えた。

明治に入ると養蚕が盛んになり、製糸工場や糸繭商が増加、繁栄の一途をたどる。今もその名残強く、市内中心地を歩くと、振り向けばそこに150余りの色々な表情の蔵に会えるといった景観である。

1

塀



図書館の東隣に姿の良い木造建築。注目したのは、塀の亀甲石積。六角形に加工した石を組み上げる手法は石積みの中でも最も上品だとされている。

2

安養院山門



文明7(1475)年、時の城主本庄信明により開基。市の指定文化財。武州本庄七福神の内、毘沙門天が祀られる。

3

上町會館



小さいながら立派な屋根と、時の流れを感じさせる看板が素敵。

4

店舗



周囲は本庄七福神を始め見所の多い好立地。老舗和菓子店。明治の頃の本庄町役場の建物を再活用している。羊羹や賞を獲得したお菓子がずらり店内に並ぶ。

5

田村本陣門



本庄市指定文化財  
本庄宿の北本陣といわれた田村本陣の正門。寛永19(1642)年から宿泊記録が残されており、文久元(1861)年11月11日には皇女和宮が宿泊。御降嫁の際に通り返されたといわれている。

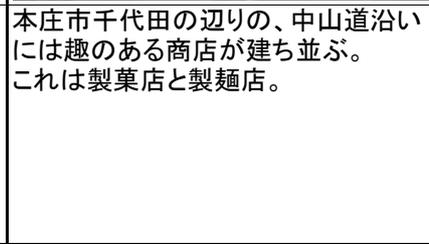
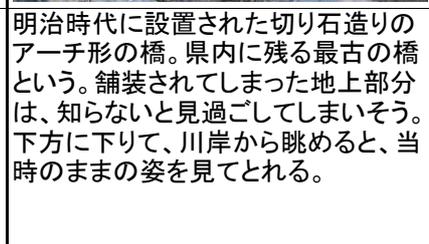
6

歴史民族資料館



明治16年に本庄警察署として建設された。本庄宿では初めての本格的な洋風公共建築物。2階ベランダのコリント式列柱は本来大理石などで造るが、こちらは木柱に彫刻を施したもの。現在は本庄市の歴史を伝える歴史民族資料館として利用されている。

7	店舗	8	三夜横丁	9	愛宕神社の櫓
					
<p>店の脇の通りが『電気館通り』とよばれていた。大正3年この地に県内最古の映画館『本庄電気館』が開業。多くの観客で賑わったという。「かつての賑わいをもう一度」との願いを込めてカレーハウスを開店したという。店内は映画のポスターが沢山。トリッキーな外観が目玉を引く。</p>		<p>布袋尊のいる開善寺から南にのびる道を三夜横丁と呼ぶ。横丁の途中の店名がさかさまの理容店の看板に首をかしげつつ、やっぱりレトロで、陽気な気分で歩ける雰囲気がある。</p>		<p>市指定文化財 旧開善寺境内にある古墳の上に祀られている。今は三夜横丁の途中東側の小高い丘といったところでしょう。櫓は根元から2つに分かれ、両方も太い。</p>	
10	病院	11	諸井家住宅	12	仲町郵便局
					
<p>医院らしいデザインの建築物である。細部まで補修の塗装が施されており、その丁寧な維持管理が、家を長持ちさせる秘訣である。</p>		<p>国登録有形文化財 諸井氏は本庄宿の繭の仲買人として活躍し、町の発展に貢献した名士。この住宅は、明治12年に竣工。諸井泉衛氏が横浜の洋館を手本に建築。当時は本庄郵便局と居宅を兼ねていた。2階の大きなベランダは、当時の住宅建築の特出したデザインである。</p>		<p>昭和9(1934)年竣工 中山道の中央一丁目交差点に位置する木造2階建て一部煉瓦造り。現在は改装されてレンガ風のタイルで化粧が施されている。</p>	
13	三交通り	14	住宅	15	旧本庄商業銀行
					
<p>石畳の敷かれた道。本町、七軒町、仲町の3町が交差する地点、『親不孝通り』の俗称もある。かつて盛り場に身を持ち崩した者を戒める意味で、誰かが名付けたのだという。昭和の香りがプンプンの商店街。</p>		<p>煉瓦造2階建ての商家。小口積みのも厚な造りで、モミジといわれる煉瓦を斜めに並べて角を見せる装飾が施されていた。敷地内奥にも煉瓦造の蔵や煙突がある。</p>		<p>国指定重要文化財。明治27年に建築された煉瓦造りの建物。旧本庄商業銀行の倉庫だったものが洋菓子店に改装された。極力当時のままの姿を残した店内では喫茶スペースが設けられており、購入したお菓子をいただける。</p>	

16	蔵	17	本庄赤煉瓦ホール			18	店舗	
<p>街道から金物屋の入り口を一步敷地内に入ると、店舗の建物と繋がる形で蔵が建てられている。蔵の扉は店の中にあり、室内から直接蔵の中に入ることが可能。 さらに裏の出入り口から奥の敷地へ進むと、数々の蔵が連なっている。</p>		<p>中山道沿いの図書館西側、三棟の蔵がそびえる。元は小森商店という酒屋のもので大正10年に完成した。外壁を木材で補修した一の蔵のほか、煉瓦造りの三の蔵はホールとなっており、コンサートや美術展に利用されている。真ん中の二の蔵はカフェとしてオープンを予定している。</p>		<p>本庄市千代田の辺りの、中山道沿いには趣のある商店が建ち並ぶ。これは製菓店と製麺店。</p>				
19	病院	20	賀美橋			21	寺坂橋	
<p>大正15年に建てられた洋風建築。現在は医院として使われていないようだ。三角屋根と、玄関ポーチがとても印象的。 右始まりの文字が年代を感じさせる。</p>		<p>国指定登録有形文化財。石尊坂と呼ばれる通りに架かる、大正15年に建設されたRC造りの桁橋。親柱も高欄部分もモダンな装飾が施され、下部にはアーチ状に白いタイルが貼られ、近代化への期待が込められているかのような凝った造りである。かつては最上部に橋灯が付いていた。</p>		<p>明治時代に設置された切り石造りのアーチ形の橋。県内に残る最古の橋という。舗装されてしまった地上部分は、知らない見過ごしてしまいそう。下方に下りて、川岸から眺めると、当時のままの姿を見てとれる。</p>				